JR EAST REPORT

JR東日本

証券コード：9020

第37期中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

平素よりJR東日本グループの経営に格別のご高配を賜り、心より御礼申しあげます。

第2四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症による影響からの需要回復が進み、増収増益となりました。この1年を「ポストコロナ」と「インバウンド」をキーワードにモードチェンジする年と位置づけ、上半期には「オフピーク定期券」の浸透、北東北でのSuica利用エリア拡大、「東北の宝ものプロジェクト（TOHOKU Relax）」の開始等の取組みを実施し、社員一人ひとりが力強くチャレンジを続けてまいりました。経営体制を監査等委員会設置会社に移行し、執行側への権限移譲を進めて意思決定の迅速化を図るとともに、ガバナンスを強化することで、将来の成長に向けた基盤を整えることもできました。

今後は、「鉄道」から「モビリティ：生活ソリューション＝5：5」をめざし、事業ポートフォリオを変革していきます。開催中の「茨城デスティネーションキャンペーン」や来春予定の北陸新幹線敦賀延伸に向けた準備、スマートメンテナンスや設備のスリム化による構造改革等の「モビリティ」の施策と、駅のインフラを活用したBeyond Stations構想の取組み等の「生活ソリューション」の施策をともに推進し、グループの総合力により新たな価値を創造していきます。引き続き、安全を経営のトッププライオリティとし、事業活動を通じて社会課題を解決し、サステナブルな成長を実現していきます。

今後もしっかりと株主還元することで、皆さまのご負託に応えてまいります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

代表取締役社長
深澤 祐二

2024年3月期 第2四半期連結累計期間の決算状況

親会社株主に帰属する四半期純利益

1,170億円

対前期比 **+331.9%**

新型コロナウイルス感染症による影響からの需要回復が進み、鉄道運輸収入やエキナカ、ホテル、商業施設等の売上が増加したことによりすべてのセグメントで増収増益となりました。

こちらをClick

配当および株主還元の見込み

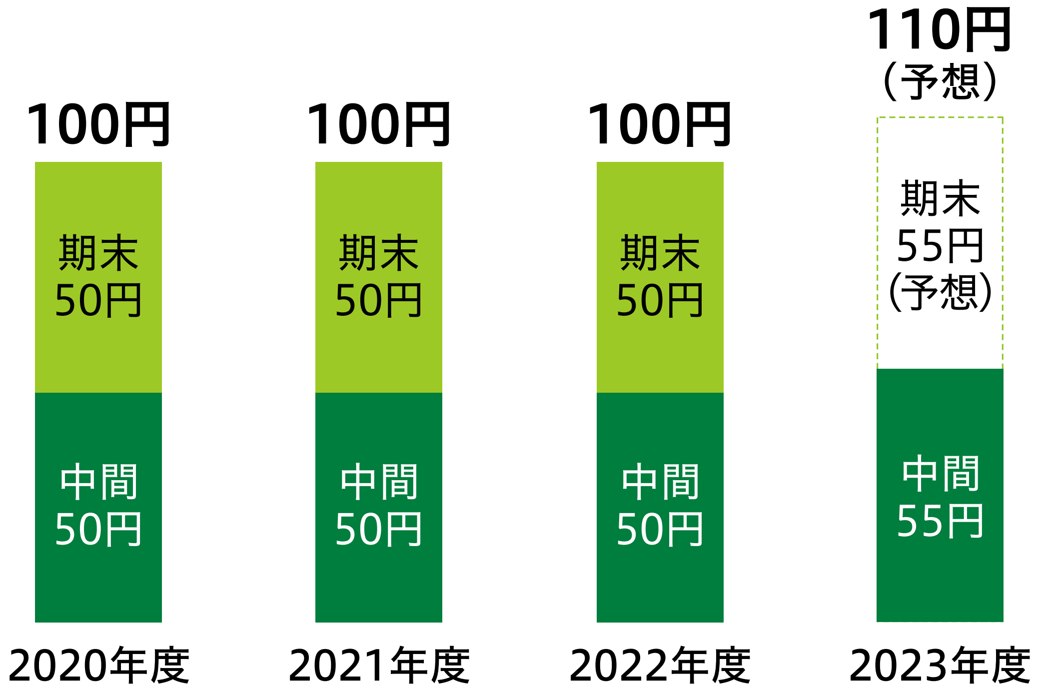
2024年3月期（第37期）中間配当

55円

対前期比 **+5円**

支払開始予定日：2023年12月1日

期末配当55円（予想）と合わせて、
年間合計110円（1株あたり）+10円（予想）



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総還元性向	−	−	38.0%	30.2%（見込み）
配当性向	−	−	38.0%	30.2%（見込み）

※n年度の総還元性向（%）＝（n年度の年間配当額）＋（n＋1年度の自己株式取得額）／n年度の親会社株主に帰属する当期純利益

中長期的には、総還元性向は40%、配当性向は30%をめざし、安定的な増配に加え、自己株式の取得を柔軟に進めてまいります。

第36回定時株主総会を開催

6/22(木)
開催

こちらをClick

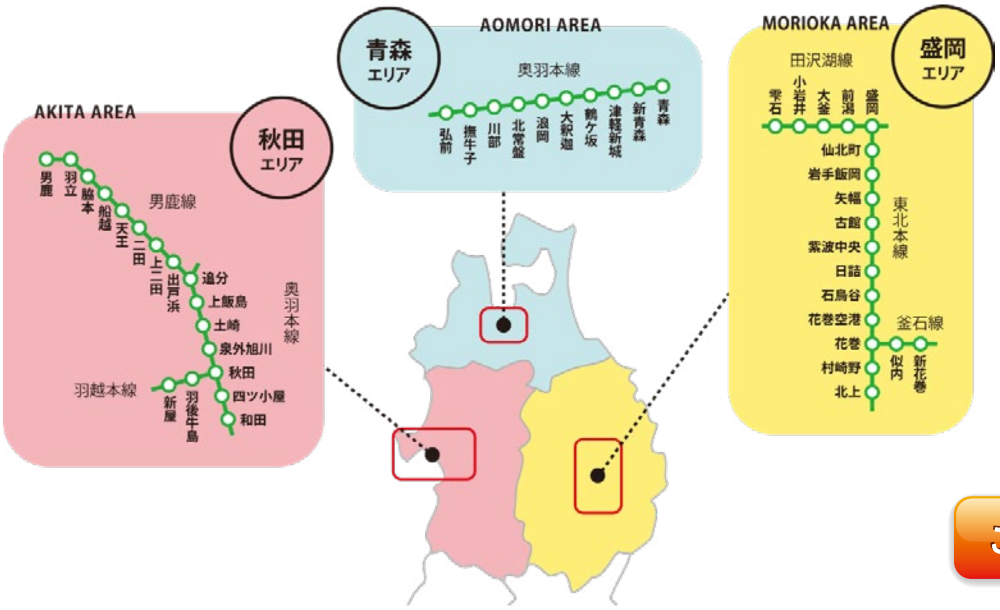
各議案・議決権行使等のご案内動画

議決権をご行使くださいました株主の皆さま、誠にありがとうございました。

当日は、約800名の株主さまのご来場を賜り、剰余金の処分の件や監査等委員会設置会社への移行に関連する議案など6議案を審議、可決されました。議案の内容および当日のスライドは、当社HPをご覧ください。

Suicaご利用エリアの拡大

5/27(土)
拡大



こちらをClick

5月27日、北東北3県（秋田エリア・青森エリア・盛岡エリア）でSuicaをご利用いただけるエリアを拡大しました。

また、2024年春以降には山形県で、2025年春以降には長野県でのSuicaご利用駅拡大を予定しています。

「株式会社JR東日本スマートロジスティクス」の設立

7/3(月)
設立

多機能ロッカー「マルチエキューブ」

物流2024年問題が迫る中で、駅内外に新型の多機能ロッカー「マルチエキューブ」を導入します。荷物の預入だけでなく、発送機能や冷蔵機能を有するほか、EC・エキナカ商品や「はこビュン」による産地直送商品を受け取れるようにするなど、お客さまとの利用接点を増やし、駅の物流拠点化を目指します。

RESL
株式会社JR東日本スマートロジスティクス

こちらをClick

「はこビュン」での多量荷物輸送トライアル

物流2024年問題やCO_2排出量削減、地方創生等の課題解決の一助を担うことを目的に、列車荷物輸送サービス「はこビュン」による新幹線多量荷物輸送のトライアルを実施しました。

6月に盛岡新幹線車両センター青森派出所⇒大宮駅

8月に新潟新幹線車両センター⇔東京新幹線車両センター
(下りは新潟駅まで輸送)

9月に長野新幹線車両センター⇒東京新幹線車両センター
(一部荷物は、東京駅で東北新幹線へ載せ替え仙台駅へ)

こちらをClick

また、身軽な手ぶら旅の実現に向け、「はこビュン」を使った新たな配送サービスの提供を開始しました。各地のホテルや駅で預けた手荷物を当日中に東京駅や23区内のホテル等で受け取れるサービスです。

JRE 手ぶら旅 × はこビュン 即日お届け列車便

こちらをClick

「HAPPY CHILD PROJECT」の新たな展開

9/5(火) 発表

HAPPY CHILD PROJECT
produced by East Japan Railway Company

こちらをClick

JR東日本グループは、モビリティ・生活ソリューションの各ビジネスの強みを活かして、子育てのさまざまな不安・負担の解消に貢献し、社内外との共創・協業により、子どもと子育てのより良い未来に挑戦します。

駅型学童の展開、TASUC㈱と連携した障害がある子どもたちの発達支援を行う教室の開設、「エキナカこども食堂」の展開、ベビーカー貸出サービスの拡大やベビー休憩室のリニューアルを推進します。

バリアフリー設備の整備推進

7/21(金) 発表

2023年度のホームドア整備計画については、すでに公表している通り、当初計画の12駅24番線に加え、常磐緩行線天王台駅、取手駅、金町駅、亀有駅、南武線稲城長沼駅、南多摩駅の6駅12番線に整備します。

今後も部品の調達状況を見極めながら、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、引き続き2031年度末頃までに東京圏在来線の主要駅330駅758番線にホームドアの導入を目指します。

こちらをClick

茨城デスティネーションキャンペーンを実施中

10月〜12月

茨城デスティネーションキャンペーン特設ページ　こちらをClick

ニュースリリース　こちらをClick

いばらき観光キャンペーン推進協議会およびJRグループでは、2023年10月～12月に「茨城デスティネーションキャンペーン」を実施しています。『体験王国いばらき』をキャッチコピーに、「アウトドア・食・新たな旅のスタイル」をテーマとした“想像超え”の特別企画やイベントを多数取り揃えています。ぜひ茨城へお越しください。

JR東日本グループレポート 2023 (INTEGRATED REPORT) を発行

9/22(金) 発行

9月22日、2023年度版の統合報告書「JR東日本グループレポート 2023（INTEGRATED REPORT）」を発行しました。

JR東日本グループが歴史の中で積み上げてきた強みや資本をもとに、社会に対して新たな価値を提供し、持続的に成長していくための価値創造ストーリーを説明しています。その他、各種インタビュー記事、新たに見直したマテリアリティに基づく取組みなどを掲載していますので、ぜひご覧ください。

こちらをClick

JR東日本各チームへの応援をぜひお願いします！

JR東日本野球部・JR東日本東北野球部

JR東日本野球部 ＞ こちらをClick

JR東日本東北野球部 ＞ こちらをClick

JR東日本野球部は、14年連続26回目の都市対抗野球本大会に出場（東京都代表）し、５年ぶりベスト４の成績を残しました。

また、JR東日本東北野球部も、３年連続29回目の都市対抗野球本大会に出場（仙台市代表）を果たしました。

今年は４年ぶりに声出し応援が解禁となり、両チームの熱戦に、応援も大盛り上がりとなりました。

JR東日本秋田バスケットボール部ペッカーズ

こちらをClick

10月の「燃ゆる感動かごしま国体」に秋田県代表として出場し、バスケットボール成年男子の部で前人未到の５連覇を果たしました。

また、地元のお祭りへの参加や小中学生への練習指導など、積極的に地域との交流を図りました。

JR東日本女子柔道部

こちらをClick

６月に三重県で開催された全日本実業柔道団体対抗大会にて、初優勝を果たし、アジア大会、グランドスラム、講道館杯など多くの国内外の大会において所属選手が優勝しました。

また、地域の子どもを対象にした柔道教室の開催など、多くの活動を行いました。

JR東日本ランニングチーム

こちらをClick

第64回東日本実業団対抗駅伝競走大会が開催され、ランニングチームが６年連続19回目のニューイヤー駅伝出場を決めました。

ニューイヤー駅伝は2024年1月1日、朝９時15分に群馬県庁をスタートです。

株主さま限定のイベントを実施しました

株主懇談会（東京）

2023年3月13日（月）／ 午前・午後　各回20名様

東京駅から水素バスでウォーターズ竹芝へ移動後、四季劇場を見学。メズム東京で役員等と経営戦略など意見交換。

株主懇談会（新潟）

2023年8月30日（水）／ 25名様

JRE Local Hub 燕三条を見学後、新潟駅へ移動し、新潟駅等見学および新潟支社の取組みについて支社幹部と意見交換。

鉄道博物館ナイトミュージアム

2023年2月18日（土）／ 250組（1組4名様まで）

新幹線総合車両センター特別見学 ＋ JRフルーツパーク仙台あらはま見学

2023年3月2日（木）、3日（金）／ 各回20組（1組2名様まで）

信濃川発電所等特別見学

2023年10月20日（金）／ 30名様

長野総合車両センターオンライン見学

2023年2月配信／3,000名様

東日本旅客鉄道株式会社　〒151-8578 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号
https://www.jreast.co.jp/

株式に関するお問い合わせ先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1－1
0120－232－711（受付時間 土・日・祝日等を除く9：00～17：00）
https://www.tr.mufg.jp/daikou/

特別口座から一般口座への振替のご提案

「特別口座」では株式の売却・譲渡ができません。株式を売却・譲渡するには、証券会社等に開設した口座に株式を振り替える必要があります。振替のお手続きを含め、特別口座に記載された株式に関するお手続きにつきましては、左記インターネットアドレスよりご確認いただけます。